

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月26日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	市民生活部・防犯くらし交通課
分野	08 公共交通	関係課	
施策	64 地域公共交通網の充実		
施策の目的	市内外を結ぶ公共交通の利便性を高め、市民の誰もが公共交通機関を利用して、快適に移動できる環境を整えます。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	交通対策事務費
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
tocoバス年間利用人数	市内5路線の年間延べ利用者数	人	297,500	260,000	356,610	362,860	369,598	367,996	
tocoバス年間運行日数	年間の運行日数	日	359	359	359	359	359	360	
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	バス路線については、路線バスをコミュニティバスが保管して運行しており、競争を極力排除しながら、利用者のニーズに対応することが求められている。 更に、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通機関の利用率低下が避けられず、収入減が新たな課題となっている。 JR埼京線については、継続的な要望活動により、一部終電延長が実現したものの、より利用しやすくなるように要望していくことが必要となっている。	対応策	バスについては、市の財政状況や、費用対効果と市民の利便性を勘案しながら、コミュニティバスの路線や運賃の見直しを引き続き検討していくとともに、東西交通の基幹となる路線バスの運行維持の支援のあり方について検討していく。 鉄道については、市民の更なる利便性を図るため、埼京線の混雑緩和、終電延長及びホームドアの設置などを、鉄道事業者に対して引き続き要望していく。
----	--	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	コミュニティバス利用者は増加傾向にあり、コミュニティバスを安定的に運行することができており、東西の根幹路線バスの路線維持とあわせ、市民の安定した交通手段の確保が図られていることから、予定通りの進捗であると考えます。
<b>B</b>		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	現状のバス交通網を維持するため、新型コロナウイルス関連の補助を検討していく。コミュニティバスについては、費用対効果と併せて、利便性向上のため、運行路線等の見直しを検討していく。鉄道事業者に対しては、利便性向上のための要望を引き続き重ねていく。これら新規対応や継続実施について、人員・予算とも維持し、対応していきたい。
<b>→</b>		

## (評価者コメント)

コミュニティバスの利用者は増加傾向にあり、市民の交通手段としての重要性は高まっており、新型コロナウイルスに関連する収入減への補助への対応も含め、今後とも、東西の路線バスの路線維持とあわせ、市内の各拠点を結ぶ交通網として、安定的な運行が必要である。鉄道事業者には、市民の利便性向上のため、継続的に直接要望を行うことが必要である。
---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月26日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費  うち 一般財源			
		事業コード		事業 区分	R1決算額		評価結果						事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補			施 策 内 優 先 度	コメント	
		事業内容			R 3 計 画 額	事業費	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性							
						うち一般財源													事業の方向性
01 交通対策事務費 (防犯くらし交通課)																			
		交通対策事務費			25,025												25,162		
	01	02	01	12	01	01	任意	25,168	1	○	B	B	B	B	1	○	B		
	路線バスへのノンステップバス導入でのバリアフリー化支							23,162											24,162
	ス							22,162											
		3,766																	
02 コミュニティバス運行事業 (防犯くらし交通課)																			
		コミュニティバス運行事業			103,509													115,501	
	01	02	01	12	02	01	任意	102,384	1	○	B	C	B	C	1	○	A	コミュニティバスの安定的な運行を図る。	
	駅や病院、公共施設等を結び、使いやすく安心して利用で							129,446											115,501
	ス							129,446											
		2,397																	
計 (千円)					事業費	128,534												140,663	
					うち一般財源	128,534												139,663	

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
7 令和3年度で終了    8 令和2年度で終了    9 令和元年度で終了